

第2回

長良川河口堰最適運用検討委員会

塩害千一ム報告

塩水の遡上について

2012年8月3日

今本博健

塩害は

**河口堰の必要理由とされている
開門調査の障害になるであろう**

ということから

最重要テーマの一つである

ところが、わからないことが多い

治水面での長良川河口堰の論点

治水のために
浚渫が
必要である

浚渫すれば
塩害が
発生する

それを防ぐには
河口堰が
必要である

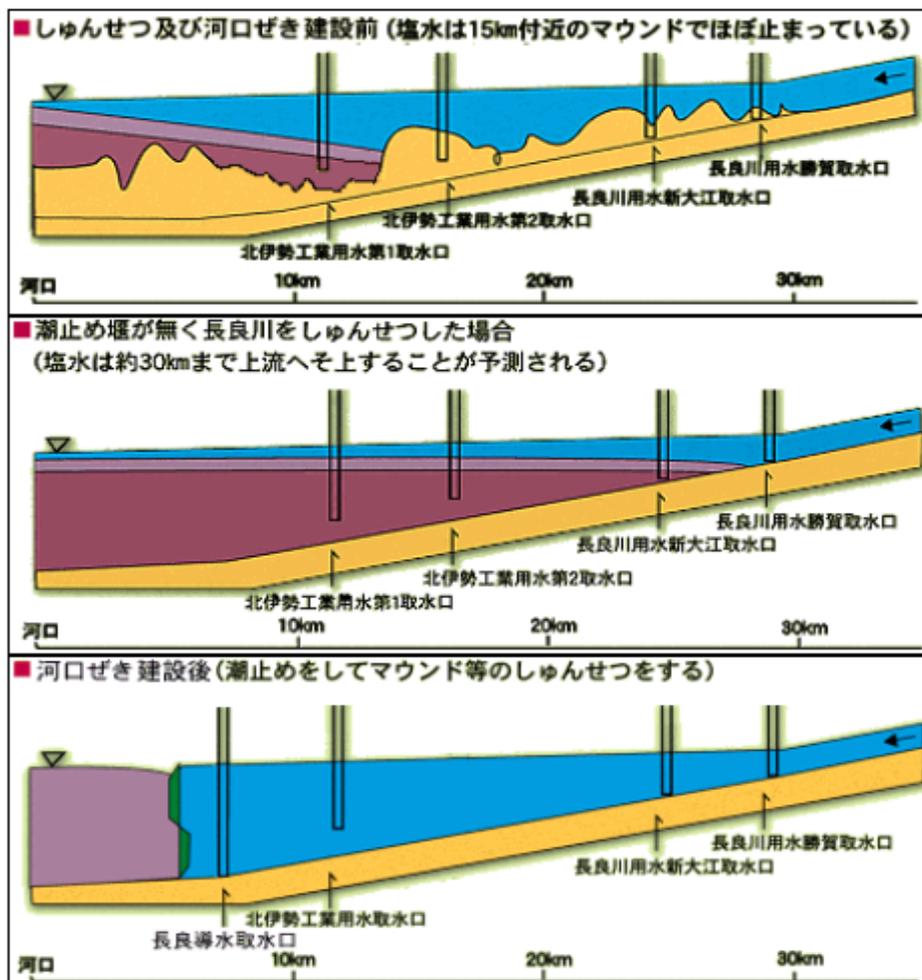
地盤沈下が
進行しており
浚渫は
不要か小規模
でよかった

浚渫しても
塩害が
発生するとは
限らない

したがって
河口堰は
不要であった

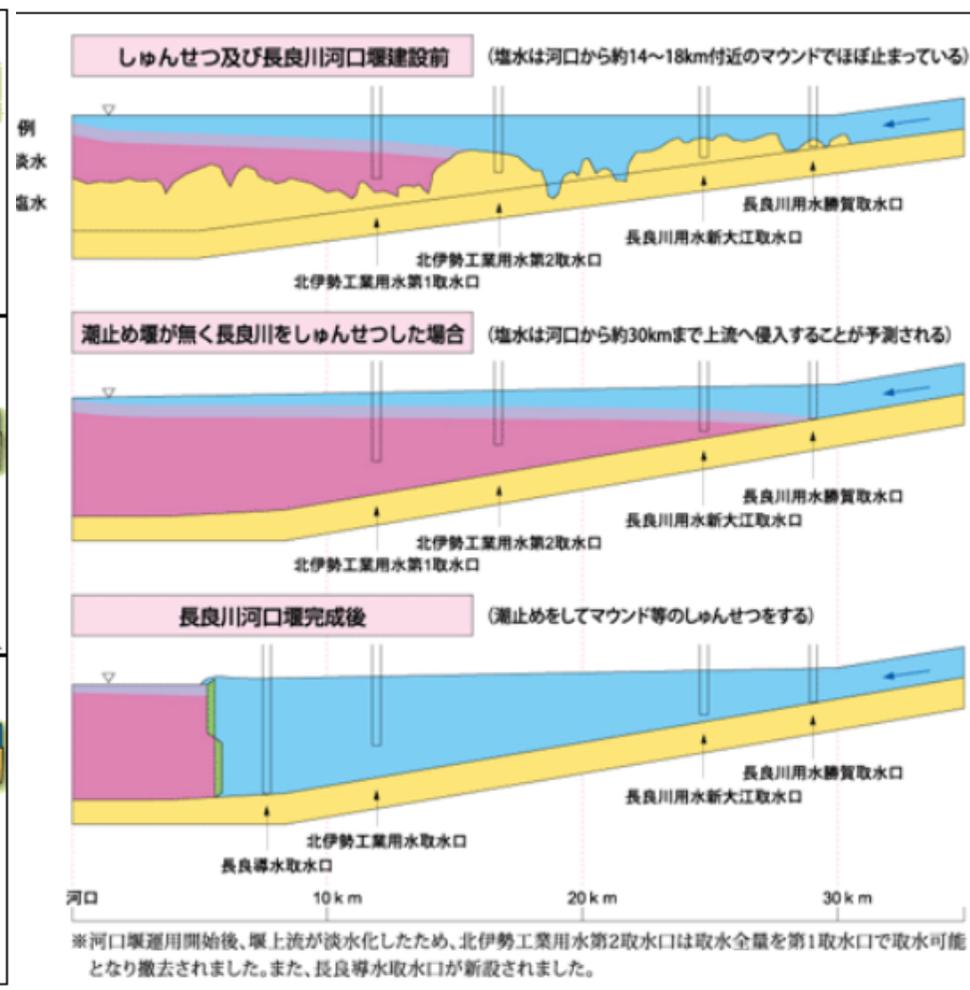
事業者による塩水遡上の説明

差替え前



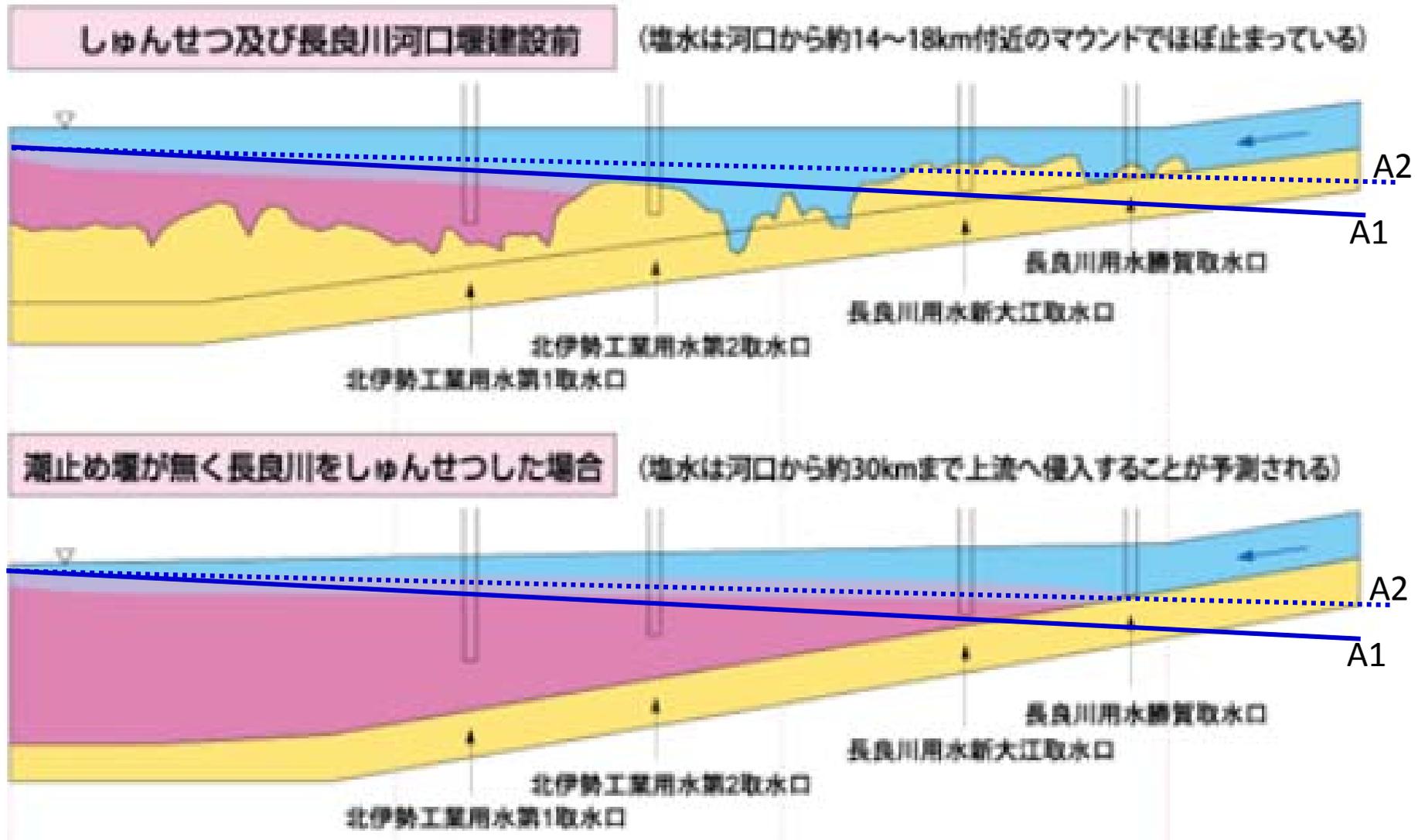
長良川のしゅんせつと塩水遡上の防止

差替え後

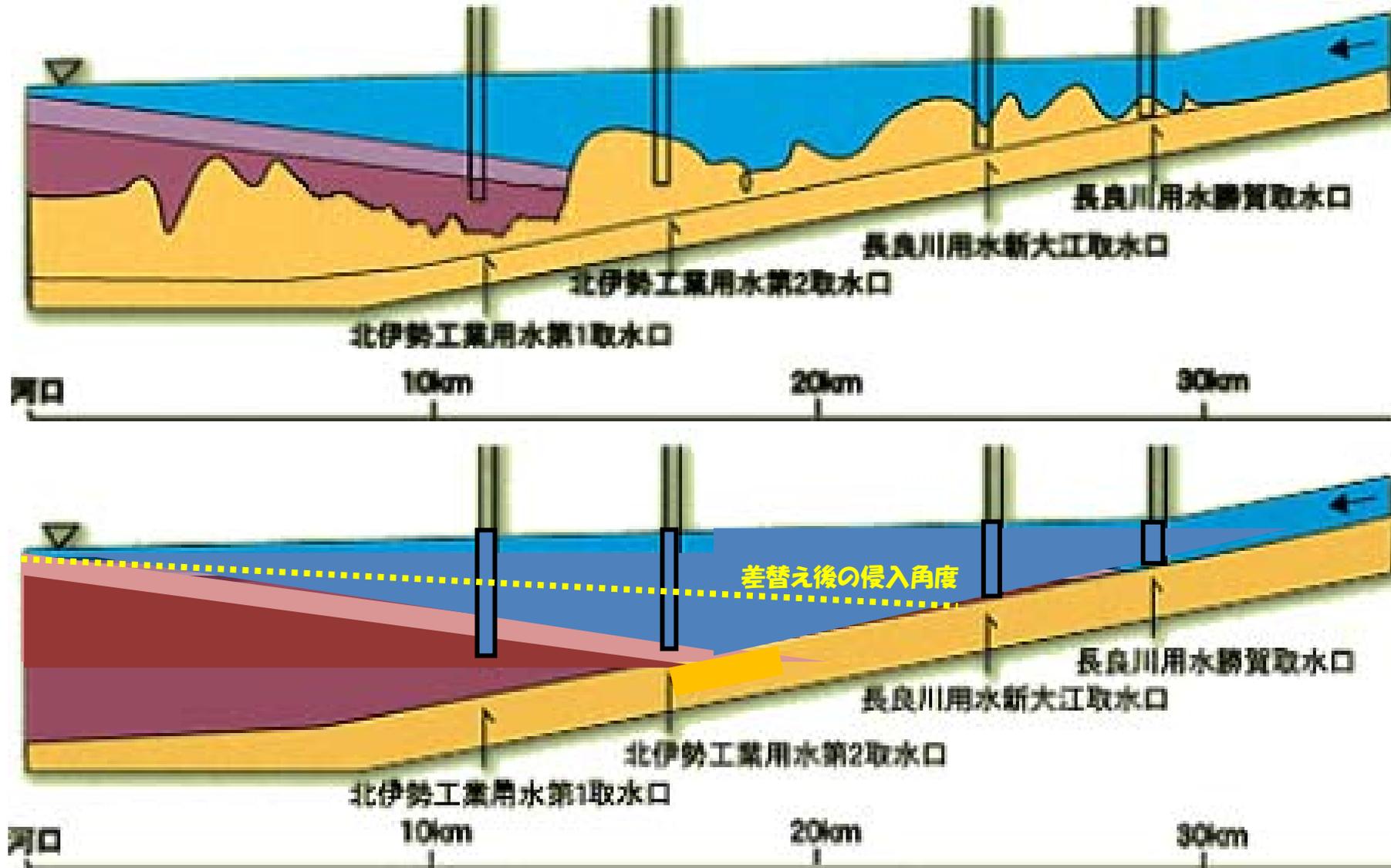


長良川のしゅんせつと塩水遡上の防止

浚渫前と浚渫後の塩水楔の侵入角度が異なっている



もし塩水楔の侵入角度が変化しなければ



塩水遡上の実績(浚渫前)

長良川用水勝賀取水口(29.5K)

塩水遡上の実績なし

長良川用水新大江取水口(25.1K)

塩水遡上の実績なし

北伊勢工業用水道第2取水口(17.6K)

塩水遡上の実績なし

福原用水取水口(12.3K)

塩水遡上の実績あり

北伊勢工業用水道第1取水口(12.0K)

塩水遡上の実績あり

長良導水取水口(7.1K)

新設

開門すればどうなるか

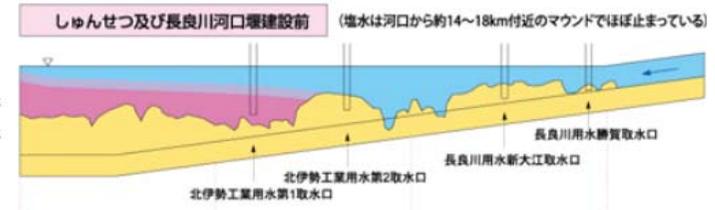
★塩水がどこまでせしゅうするかはよくわからない

★塩水の影響を受ける利水は別の水源で代替できる

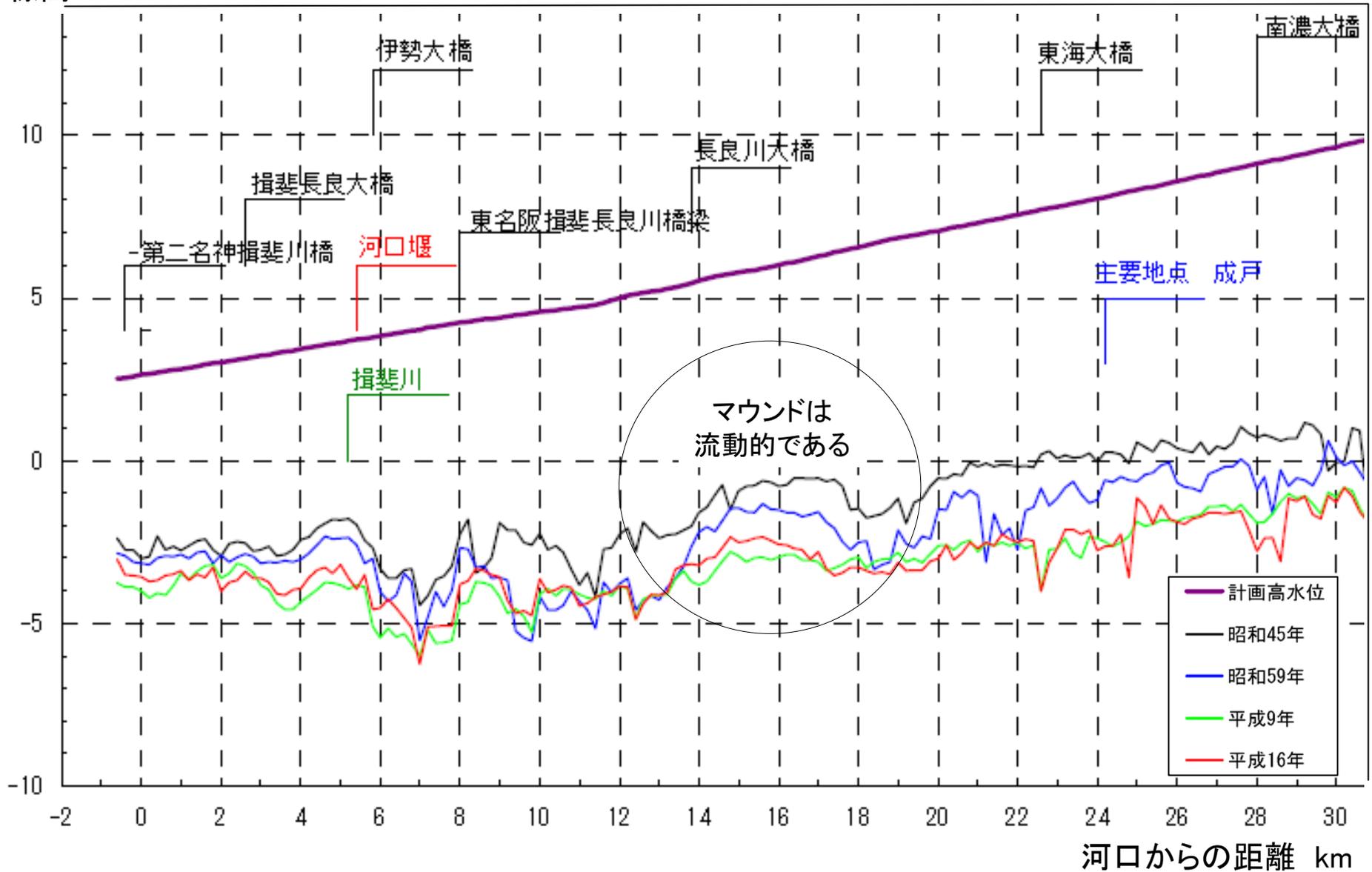
★環境が回復する可能性は高い



マウンドについて



標高 TPm





塩水遡上による影響

1) 取水障害

- 北伊勢工業用水の取水ができなくなり、約60社、約70工場に影響が出て、数万人の従業員の生活に影響。
- 長良川用水の取水ができなくなり、約3,000ha、約2,600戸の農業に影響。

2) 地下水の利用困難

- 約1,600haの地域の地下水が塩分で汚染。
- 多数の井戸に塩水が侵入し、使用不可能となる。

3) 農業被害

- 長良川用水の取水が困難。
- 高須輪中の大江川より東の約1,600haの地域で地下水及び土壌の塩分化により農地としての使用に影響。

4) 土地利用の制約

- 土壌の塩分濃度が増加して、土地利用等に支障を与え、将来の地域の発展の可能性を大幅に制約することにつながる。